

第2回第二中学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年5月9日（火）18時30分～19時40分

2 場 所 愛宕コミュニティセンター ホール

3 出席者 (1) 委員 26名

(2) 事務局 教育総務課長 石黒 龍実

学校教育課長 植木 修

学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純

学校教育課 適正規模・適正配置推進室長 柴倉 和典

学校教育課 主事 渡邊 亮

学校教育課 学校教育専門員 尾形 敏行

4 内 容

(1) 開会

(2) あいさつ (会長)

(3) 自己紹介 (委員および事務局)

(4) 協議

①会議録の承認について

②統合のあり方に関する意見について

③その他

(5) 第3回協議会の開催日程について

(6) 閉会

(4) 協議について

(会 長) 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 以上の説明について、質問はいかがか。

《 質問なし 》

(会 長) 次に、「統合のあり方に関する意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 以上の説明について、皆様の方から統合のあり方について、ご意見、ご質問等を出していただければと思います。

(委 員) 昨日、二中で参観日と総会等があったのですが、その時に感じたところが駐車場です。今、二中では、南部地区、南部小学校区の方は歩いて二中に来られますが、南原地区の方は自動車に来ていいといった形になっています。今回統合して、さらに西部地区の方もとなった場合、おそらく駐車場が足りないのではないかと思います。そういったところをどう考えているのでしょうか、私、個人的には、山大などの駐車場を借りるといったことも検討していただけないかと思います。

(会 長) 事務局からお願いします

(事務局) 駐車場に関しては、今校舎の実施設計を進めておりますが、その中で確保できる限り確保したいと思いますが、基本は子どもたちの教育環境の整備の方が最優先でございますので、こちらを優先しながら可能な範囲で確保できる分については考えていきたいと思っています。また、ご提案がありました、学校敷地外に駐車場をお借りするということにつきましては、今後、学校の方とも協議ということになるかと思っていますが、実際の運用について検討していくことになるものと考えております。

(事務局) 私からも補足させていただきたいと思います。これまで学校に地域や保護者の方が集まっていたくようなときに、学校の中で駐車場を完結するよというところで、学校では進めていたと思いますが、今後、やはり統合によって学区が広がるよというところで、いらっしゃるご家庭の方、地域の方の数多くて、駐車場が足りなくなるよということは、実際に考えられるかと思っています。そのような際に、特に南西中が建設される現在の二中の校舎ですと、愛宕小が近いよということもありますので、小学校と中学校間で連絡を取り合いながら、駐車場を借りられるかどうかということも協議することは可能だと思いますので、その辺りは開校したときに、実際どれくらい足りなくなるよということを相談させていただきながら検討できるかと思っています。

(会 長) 他にご意見ご質問等ありますか。

(委 員) 1回目の会議のときに、体育館に冷房は付かないのかよという話もあった中で、体育館にはつかないが武道館の方には冷房をつけたいよよいうような話でしたが、最近、様々災害が出ているよよいうことで、万が一災害があったときに体育館が避難所になるよよいうようなことはないのでしょうか。体育館を避難所にするよなれば、暑い中、寒い中、冷房暖房よよいうのは不可欠なのではないのかなと思いますけども、その辺のお話をお聞きしたいよと思います。私はコストが高くなるからよという理由はなしだよと思います。

(会 長) 事務局お願いいたします。

(事務局) 体育館の冷暖房についてですが、武道場に冷房を設置したいよよいうことで考えております。まずは、避難所となるエリアの中でも、冷房が全館よよいうわけにはいかないよですけども、今のところ武道場には設置したいよと考えております。アリーナ部分よよいいますか全体の部分につきまして、なかなか今のところではすぐさま冷房設置よよいうところは難しいのかなよと考えています。しかし、いろいろな災害などの対応よよいうことでも、やはりこれが求められる時代になっているのは認識しておりますので、まずは武道場の方に冷房をとよいうことで、何とか設置していかなければならないよよいうところで考えているところですよ。

(会 長) 私の方からですが、二中のPTAで話した中でお話があったことですよですが、会議の場でも話をして欲しいよよいうことで要請がありました。商業高校も工業高校と一緒になるよよいう中で、中学校の工事中にグラウンドが使用できないよよいうことで、愛宕小学校、南部小学校や南原中よよいうようなことで説明がありましたよですが、統合後の商業高校のグラウンドも使うよよいうことが可能ではないかよよいう話があつて、

統合に関する説明会の時にもそのようなご意見を出ささせていただいたということでした。ぜひその辺は県の方にも再度米沢市の方からお話をいただいて、商業高校であれば場所としても南原中学校に比べると距離的にも近いわけですので、協議をしていただきたいという意見がありました。お願いできればと思います。

(事務局) 前会長さんだと思いますが、米商の職員の先生からお話も頂戴しまして、その後、商業高校の校長先生ともお会いする機会があり、その話題も出したところでした。校長先生ももちろんご存知でいらっしやって、統合にあたって中学生の活動場所として使ってもらうことについて、結構前向きなお考えでいらっしやったと思っております。ただ、米商が米工の場所へ統合していくわけですが、米商の校舎の方も工事が入るといってお話のようでした。その際、米商の入口から入ってグラウンドまで行く際、工事車両と交錯してしまうような心配もあるようでした。入口が1つしかないということで、グラウンドを使ってもらうにあたっては、課題があるというようなお話がありました。その課題をどのように乗り越えられるかということは、今後、一緒に検討していきましょうというようなお話を頂戴したところですので、使わせていただけるように働きかけていきたいと思っております。なお、工事の車両と交錯してしまうというところに関しては解決できるのかという問題もありますので、今後検討させていただきたいと思っております。

(会長) 前回出された意見の中でも、小学校のグラウンドだと中学生が蹴ったボールなどへの懸念ということも意見として出ていたようですので、その辺、調整、検討を進めていただければと思います。よろしくお願ひします。

その他ご質問、ご意見等ありませんか。

(会長) 私の方からですが、PTA組織の考え方という部分があります。PTA組織については、二中にも三中にもあるわけですが、PTAについて、この五中の意見書では、検討してもらいたいとありますが、協議会の際にはどのような意見というか、どのようなことが出されたのかということがわかれば聞かせてください。

(事務局) 形としてはこの意見書の文言のようになったところですが、その前段の話し合いの場に出たご意見等を若干ご紹介しますと、PTA同士では、PTA会長さん同士がお知り合いといったこともあり、いろいろ協力してやっていかなければならないと思っていたというお話がありました。ただ、コロナということもあって、懇親を深めるような機会が持てない状況がずっと続いていたので、今後、できれば色々な場面で意見交換して、どのような形でPTA組織を作っていくかといった話をしていきたいとのご意見がありました。また統合の前にしっかり準備していくことで、子どもたちが安心して統合後の学校生活に入っていけるのではないかとご意見がありました。また、後援会組織について書かれていますが、五中の場合、地区の皆さんにもご協力いただいている後援会組織がありますが、一中には地区がかかわった後援会組織がないことから、果たしてどのようなだろうというご意見が出されたところです。後援会組織の大きな役割は部活動の支援だと思いますが、後援会組織のあり方について統合準備委員会の場で意見交換しながら、どういう形がいいのか議論してもらいたいといった思いから

意見書のような文言になっております。

(会 長) 具体的な中身については、これから先のところになると思います。他にご質問、ご意見等ありませんか。

(委 員) 五中の意見書の中で、統合にあたってその他の意見というところに書かれている意見については、全く同意見で大事なことだと思います。学区について、もちろん反対の意見なんかはないわけですので、今出たようなPTAの役員のあり方、あるいは後援会組織、そういった様々なところは、やはり当事者である二中と三中の役員の人たちが会合を重ねながら、段階ごとに検討しながらやっていくことが大切だと思います。私もかつて二中の方で役員をさせていただいたときは、二中は、大まかに愛宕地区と南部地区で、PTA会長や後援会会長は、今年やったらなるべく次は別の地区から、南部小学校から出た場合、愛宕小あるいはその他からといったように、様々考慮して選出しましょうというような話をしました。そのあたりは、これからPTAの役員の方々が、回を重ねながらやってくることが一番よろしいのではないかなと思います。今後、保護者の方々にもいろいろな場面で情報を開示していただきながら、不安を取り除いていくというのが一番いいのかなと思います。

(委 員) 同窓会の立場からですが、同窓会はいわゆる支援組織ということで、直接的な支援ではなくて、現役の子ども達のための支援の団体であります。そちらの方の部分でも、基本的にどういうふうに解消していくのか、持続的にそういった組織が残っていくのかについて、まだ三中の方とのすり合わせなどはしていないのですが、その辺のところは1点あります。同窓会組織としての予算等もいただいているという中で、最終的なところの使い方など同窓会の中でも話したいと思っていますけども、ここのところは五中ではどのような話をしていたのかというのが一点。もう一つ、今、中部地区の方々がいらっしゃいますけども、中部地区は、二中（南西中）の統合準備委員会からはおそらく外れていくと思うのですが、基本的に中部地区としては二中（南西中）と関わりがなくなってしまうと思います。今後、中部地区の子どもたちは、すべて一中に行くということがありまして、その辺のところについて、中部地区の地域の方々としては不安があるのかなと思います。私の方も関わりがなくなってしまう、このようなことがもったいないなということが一つあります。それと、これは同窓会の役員会で出た話ですが、前回の統廃合というのがあって、二中がここにできて、三中の西部エリアと愛宕エリアが入ったときに学校が荒れたというお話がありました。その当時の上が荒れている時に入学したのが私ですけど、あの頃は、おっかない先生が何人かいて、そのような先生もいることでうまくやられていたのではないかと思います。子どもたちがギャップを感じるのは、1年、2年くらいかだと思います。3年目ぐらいからは、おそらく学校に慣れて、ほとんど平準化してくるというか、どこかで混じり合いましたというのが多分あると思います。

(事務局) 統合に関わって、子どもたちが今まで違う学校で生活していたのが、一つの学校に集まって新しい学校としてスタートするという点について不安に思っていたり、学校生活だけではなく登下校の心配、違う校舎で慣れていけるだろうか

ていうような様々な不安があるだろうと思っています。この度、適正規模適正配置計画に沿って統合していくにあたって、小学校もそうですが中学校も事前に交流事業をしながら、子どもたち同士と一緒に活動して、一緒にレクリエーションをしたり、一緒に学習をしたり、一緒に合唱をしたり、様々な活動を通して、仲良くなって、統合が楽しみになった先に統合があるといったような形にしていきたいと考えております。最近であれば、関小と南原小、関根小と松川小、その前ですと、二中と南原中の統合がありました。今年の春には、三沢東部小、三沢西部小が西部小と統合したわけですが、事前交流の段階からどっちがどっちの学校だろうかというぐらい打ち解けるのが、子どもたちは早いなと思いました。先生方もそうですが、地域、保護者の方々のご支援もあって、統合がうまく進んでいるのかなと感じているところです。今回の五中の統合のあり方についてということで資料を提示させていただきましたが、関根小と松川小の統合も経験されている地域の方ですので、五中の地元代表者協議会でも統合はいいよねという雰囲気もあって、スムーズに話が進んだのではないかと感じております。そうは言っても、子どもたちは違う学校に通うにあたっての不安はありますので、校舎に慣れるとかといったところでも、また今回の場合は、南西中が新しく建ちますので、事前に校舎に慣れるということはちょっと難しくなりますけれども、そういったところも子どもたちの不安をできるだけ取り除けるように力を入れていきたいなと思っております。子どもたちはもちろんですが、教職員にとっても、ワクワクして統合に向かっていけるように進めていきたいなと思っております。

(事務局) 先ほどのお話の中に、同窓会同士の話はまだされてないということでしたが、一応、そのような協議の場として統合準備委員会を地元代表者協議会の後に立ち上げさせていただきます。そこでは部会の形で、様々なテーマごとに設定をさせていただく予定です。その設定するテーマの1つとして、同窓会組織のあり方というテーマを部会にお願いしたいと思っています。その場ができる前に走っていただいても全然いいのですが、ただそういう場を正式にご用意させていただきたいと思っていますので、そういった場を活用いただければと思っています。

学区の変更についてですが、一小一中というのがこれからの統合の基本的な考え方になっていきますので、今、興譲小から3つの中学校に分かれているところを、全員一中へ進むことになる計画になっています。例えば、興譲小から四中へ進んでいた子ども達がすべて一中に行くことになり、興譲小から二中に進んでいた子ども達がすべて一中に進むというよう形になります。そういう形で卒業生全員がそろって同じ中学校に進むという形を進めて参ります。いつからどういうふうに変わるのかというのは、やはり小学校の保護者の皆さんが見えない状態だとすごく不安だと思いますので、その部分は、小学校の保護者の方々に対してもしっかりと情報提供させていただいて、いつからどういう形になるのかといったことについて丁寧にお知らせをしていきたいと考えています。

(会長) この度の南西中は本当に全部が新しくなるという形で、今までの統合とは違い、一段階上の部分が出てくるのかなというように思っているところです。他にあり

ますか。

(委員) 先ほど説明いただいた件についてですが、私の子どもも南原から二中に来て統合した子どもがいますけど、説明にもあったように子どもたちはすぐに打ち解けるので、その辺は私も経験しているのであまり不安はなく、多分、南西中も大丈夫だとは思っています。とは言っても、統合といった理由だけではないのかもしれませんが、ある程度の一定数、どうしても不登校といいますか、学校に来られないという子どもがいると思います。先ほど統合前にいろんな交流するというお話があったと思いますが、ぜひ統合後もしっかりとサポートをお願いしたいと思っています。

(事務局) 小、中学校の各校において不登校の子ども達はおります。学校になかなか来られないといったその背景といったものも子ども一人ひとりによって様々あります。どういう形だと学校に来られるのか、どういう形で学習を進められるのか、どういう形で友達と交流できるのか、といったことも一人ひとり違うなと思っているところです。そういう子どもたちにとって、なかなか学校に行けないっていうような状況にある中で、さらに学校が変わるっていうことについては、不安なところも大きいのではないかなと思っています。ただ、そういった子ども達もきっかけを掴んで頑張ろうと思っている子ども達も多く、例えば、年度が変わるタイミングや学期が変わるタイミングなどを捉えて、何とか学校に行きたいというふうなきっかけをつかもうとしている子ども達も多いですので、統合という機会も捉えて、できれば子どもたちが学校に足が向くようにできればと思います。なかなか向かなくても、子ども達への支援といいますか、中学校の先には高校がありそして社会人になっていくといった道筋がありますので、そういったところで躓きがないように、できるだけ自分の進みたい道を見つけて、そちらの方向に進んでいけるようにサポートしていきたいと思っております。なお、統合にあたっては、統合に関わって子ども達の支援ができるように職員も配置する予定ですので、その職員の力も借りながら、子どもたちの不安をできる限り解消していきたいと思っています。

(委員) 私は、関小から南原小への統合時のPTA会長をしておりまして統合準備委員会の会長もしていました。今話を聞いておりまして、二中と三中の統合ということで、どうなるのかなあと考えておりました。小さい学校が大きな学校に統合する場合、暗黙の了解といったら失礼ですけども、大きい学校にいろんなことを合わせるというような想いで準備をさせていただいたものですから比較的スムーズに、若干スクールバスの件ですとか揉めたりしましたが、基本的に関小は小さかったので南原小の組織に合わせるっていうことで、了承いただいて進んだということがありました。これから地元代表者協議会が終わった後、統合準備委員会に移るわけですけども、二中と三中になりますと、大きな二つの学校が統合することになりますので、私の感覚からすると、統合準備委員会がすごく大変になるのかなという心配をしています。今までの統合をみても、南原中から二中に関しても同じことが言えて、南原中のPTAは、二中の形に合わせていくことが

ありました。今度、二中と三中といった大きい学校2つが統合するということで、統合準備委員会がすごく大変になるような想像をしています。どんな形でとは言えないですけども、ある程度、各部会において道筋といいますか、こんな形で話し合ってくださいみたいな感じで、事務局の方々にもある程度方向性をつけてもらおうと私たちもちょっと楽かなという思いがあります。

(会 長) 事務局からどうぞ。

(事務局) 今おっしゃっていただいたご心配は事務局としても感じています。今までは、大きい学校と比較的小さい学校との統合がほとんどで、大きい学校同士が全く新しい学校を作るというのは経験していないところです。今回、二中と三中の2校、そして四中と六中の2校、そして、一中と五中、その後一中と七中と統合することになりますが、大きな学校同士の統合準備をどのように進めていくかについては、今までのやり方ですと、部会にある程度お願いする部分もありましたが、なかなか部会独自にということではお願いできないところがありました。事務局の段取りの仕方もあったと思いますので、今後の統合にあたっては、この部会ではこのテーマでこういった方向性でご議論いただきたいというところをしっかりと最初の段階でメンバーの方々と事務局で意識を合わせさせていただいてから、進んでいければと考えています。そして、部会ごとにゴールを目指していただくというような形がとれば、今ご心配いただいた点もかなり防ぐことができるのではないかと思いますので、そのように準備をしていきたいと考えています。

(会 長) 私もすごくその辺が不安というか、どういう形になるのかなということとをずっと思っているのですが、事務局でいろいろ筋道をつけていただければと思います。他に何かご意見ございますか。

(委 員) 皆さんのお話をお聞きしていた中で、先ほど中部地区の話が出ましたので、私は興譲小学区で中部地区ですが、今、二中に3年と1年の子どもがおりまして、小学校にまだ下がいます。そのタイムスケジュールみたいなものを前に見たときに興譲小の委員もおっしゃっていましたが、興譲小は一中に行くことになっています。下の子どももそうです。そうすると、今の1年生の子が3年生に上がったときに、下の子どもが一中に行くような流れになると、中学校がいわゆる南西中と一中に分かれてしまうのでしょうか。興譲小に何人かそういう子がいて、親同士でどうなるのだろうねっていう話が出ていました。先ほど事務局の方から丁寧に小学校の方に説明をされるというお話でしたけど、まだ多分小学校では一切そういった話が聞けていないので、中学校は統合していく中で、興譲小も一中に行くというのは聞いてはいますけども、子どもが中学校で別の中学校に行くことになるとかというのは、今の時点で決まっているのかを聞きたいです。それと私的な話ですけど、私は二中出身で、二中の校歌も好きですが、南西中になった時にはもちろん校歌も変わるのかなと。それは誰がいつどの段階で出来てくるのだろうかという、もちろん南原中学校の校歌もそうだったろうし、みんなそれぞれ出身校の校歌に思い入れがあると思いますけど、いつそれが見えてくるのかなという、本当に皆さん大きな話をしている中で大変恐縮ですけど、どうなるのか

について、先日小学校で話が出たので聞いてみました。

(会 長) 事務局からお願いいたします。

(事務局) 最初に校歌の方からですが、予定では統合準備委員会で、校歌や校章などについても検討のテーマにさせていただく予定です。検討いただく中で、決め方、作り方としてはいろんな意見が出されることも想定されますが、例えば、どなたか有名な方に頼もうということもあると思います。それだとそれなりのお金が必要となるので、予算を要求することになります、そのような制作の方法についても含めて統合準備委員会で一緒に検討させていただければと思っております。この時点でこういう決め方、作り方をしますというものはない状況です。

また、学区の件ですが、ご兄弟がいらっしゃる場合に、上のお子さんと下のお子さんが年度を境に、違う学校に行かなければならなくなるのかということだと思いますが、学区の変更、進む中学校の変更が、ある年度をもって変更せざるを得ないわけですが、学区の変更に伴って、ご指摘いただいたとおりご兄弟が違う学校に行ってしまうということ、そのままということは、ご負担も多かったですりして大変だと思います。そのため、そういった場合に学区の特例措置ができないかということで検討していく予定です。

例えば、統合前に中学校へ進む上のお子さんについて、統合後に下のお子さんが進む予定の中学校へ、先んじて行っていただくといったように、どういう特例措置が良いのかについて検討させていただきます。今年度中に学区の変更を審議する学区審議会を開催する予定でありますので、そこにお諮りさせていただいて了承いただくと学区が変更されるという流れになります。1つの学校の学区がすべて統合により1つの学校の学区となる場合は、特に問題はありますが、1つの学校の学区を切り分けて、他の学校の学区に変更するといった場合は、学区審議会でご審議いただく必要がありますので、さきほどの学区の特例措置も合わせてご提案させていただいて、ご審議をいただければと思っております。また、例えば、興譲小の保護者の皆様にご意見をお聞きしたいといったこともあるかもしれませんが、そのような場合には色々と御意見をいただければと思っております。

(会 長) やっぱり興譲小学校から一中、二中、四中へ進んでいるということで、今のご質問に、はっとしたところがありました。そういう当事者といえますか、統合に向けて今小学校のお子さんもいらっしゃる方は特に心配していらっしゃるかと思っておりますので、よろしくをお願いします。

(委 員) 連合PTAの南ブロックや北ブロックといった地区ブロックは、小学校、中学校の範囲があると思いますけど、それが今だと一中、南部小、南原小などは、南ブロックに属しています。その繋がりがあるので、他の会長さんとは昔からコミュニケーションが取れていますが、同じ二中学区にある愛宕小は西ブロックに属していることから、正直、愛宕小の会長さんや副会長さんとは面識がなく、統合する上での連絡のやり取りなどがなかなかできない状況にあります。そこで、今後、統合について色々と検討していく中で、PTAの連合会の地区ブロックの見直しというようなことは検討されているのか、変わるのであればいつなのかとい

うことをお聞きしたい。

(会 長) 事務局からお願いします。

(事務局) P T Aのブロックの見直しということ、今の時点で織り込んでいるかという
と織り込んではいません。中学校の統合ではありますが、小学校も先ほど一小一
中だと申し上げたとおり、小学校から一つの中学校へ上がることになるわけで、
小学校の方々の存在抜きにして中学校の統合を進めていくのは難しいというふう
には思っております。そのため、統合準備委員会の構成メンバーには、中学校の
保護者の皆さんはもちろんですが、各小学校のP T Aの会長さんの方々にも参加
いただく予定でおります。また、小学校の学校長といった学校教職員も入るよう
な形で組織していきたいと考えております。まずは、統合中学校のP T A組織の
あり方がメインのテーマにはなりますが、小学校のP T Aの方々も入るといこと
になるので、そのような場を通して地区ブロックの見直しといったお話もして
いただけるのかと思います。

(会 長) ブロックの話は、連合会の中での話ということもあるとは思いますが、ブ
ロックの割り振りみたいな部分は前からちょっと話が出たりして、そのままきて
いるような感じがありました。南ブロックには、松川小が入っています。そうす
るともう中学校の学区とは、かけ離れているというのが前々からP T A会長の間
では話が出ていましたので、統合に向けて、そういった議論をしていただければ
なというふうに思います。

他にありますか。なければ、統合のあり方に関する意見については、これ
で終了させていただきます。

(会 長) 次に、「その他」説明を事務局からお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 他に質問はありますか。なければ以上で協議終了とします。御協力ありがと
うございました。